

【事故ゼロプランってどんな取り組み？】

皆さんは運転中に「この道、危ないな…」などと思ったことはありませんか？

事故ゼロプランは国土交通省が実施している交通事故対策の取り組みで、住民の皆様の意見やデータに基づき選定した「事故危険区間」を重点的に対策することにより、効果的に交通事故の件数を減らすことを目的としています。これにより、計画開始後の13年間で死傷事故・重大事故の件数が7割以上減少しました！

安全な交通に向けて、南会津建設事務所も引き続き道路整備に努めてまいります！

#南会津建設事務所 #南会津建設 #南会津 #福島 #東北 #建設 #土木 #ふくしまの建設 #交通事故 #交通安全 #国土交通省 #事故ゼロプラン #minamiaizu #fukushima #japan #civil\_engineering #construction #aizu #traffic\_accident #traffic\_safety

# 福島の道を安全に

～ 事故ゼロプラン ってどんな取り組み？ ～

事故データや地方公共団体、地域住民からの意見等に基づいて、交通事故の危険性の高い区間を「事故危険区間」として選定し、事故要因に即した対策を重点的・集中的に実施するとともに、以下の「マネジメントサイクル」に基づき継続的に対策を実行しています。

### Plan 事故危険区間の選定 ～3 step で事故危険区間を選定～

**step 1**  
交通事故発生状況及び特性の分析

事故データや地域の声を把握し、交通事故の発生状況や事故の特性を客観的に分析し、事故の要因を検討

**step 2**  
事故危険区間の抽出

- 死傷事故の発生割合が高い区間
- 重大事故が発生している区間
- 地域住民が危険と感じている区間

などに着目し、事故危険区間を抽出

**step 3**  
事故危険区間の抽出 (代表的な区間)

- ① 事故が多発する区間
- ② 重大事故が発生した区間
- ③ 交通弱者の安全性を確保する区間
- ④ 利用者から指摘のある区間のいずれかに該当する区間を、代表的な区間として抽出

### Do 対策の実施 ～事故状況や発生要因を検証し、効果の高い事故対策を実行～

対策の代表事例

**速度抑制対策**  
～ドットライン～

- 主な効果  
道路の幅を狭く見せ、スピードを抑える効果



**注意喚起対策**  
～カラー舗装～

- 主な効果  
交差点の直前であることをドライバーに注意させる効果



**交差点対策**  
～ゼブラ帯～

- 主な効果  
交差点内の走行距離を短くし、車の巻き込み事故を防止する効果



### Check 対策効果の検証 ～対策完了後の効果を事故データ等により検証・評価～

● 事故発生状況

一般国道4号「岩谷下交差点(福島県福島市入江町)」では、平成24年～令和3年の10年で36件(年平均3.6件)の死傷事故が発生。

● 対策内容(ドットライン、カラー舗装、ゼブラ帯 など)



● 対策効果(死傷事故件数)



対策前 H24-R3: 3.6  
対策後 R5-4-R6.3: 1.0  
約7割減少

### Action 追加対策の検討

～必要に応じて、対策効果の検証を踏まえた追加対策を検討～



### 現在までの対策効果 (H22～R5)

死傷事故件数の推移



約8割減少

重大(死亡と重傷)事故件数の推移



約7割減少

**お問合せ先**

国土交通省 福島河川国道事務所 道路管理課	TEL: 024-539-6130
国土交通省 郡山国道事務所 交通対策課	TEL: 024-946-8167
福島県道路交通環境安全推進連絡会議 事務局	TEL: 0246-23-0964
国土交通省 磐城国道事務所 管理課	